



厚生労働大臣表彰『現代の名工』に 佐藤桂さん（山内町）が受賞

厚生労働大臣が卓越した技術者を表彰する「現代の名工」に山内町の佐藤桂さんが昨年11月に選ばれました。2月12日に武雄市を表敬訪問され、喜びの報告をされました。

佐藤さんは、伊万里市の名村造船所に勤務され、金属同士をつなぎ合わせるアーク溶接工の技術者。91年には全国溶接技術競技会で優勝され、現在は、生産技術開発部の技術伝承グループ長として後継者育成に取り組まれています。

雄武町への武雄市児童交流派遣

市内の小学5年生16名と引率者4名の武雄市児童交流派遣団が、2月6日(金)から2月10日(火)の期間で北海道雄武町を訪問しました。

地名が逆さまの縁で交流が始まった雄武町との交流派遣は今回で16回目となりました。子どもたちは雄武町の表敬訪問のほか、地元の豊丘小学校との交流やホームステイなど、たくさんの友達とふれあいました。そして北海道の大自然のすばらしさを体験しました。



北方町が生んだ新特産品 まん丸い形の「いなかレモン」



生産者の高倉袈裟太郎さん

広々とした山麓、豊かな自然に囲まれた北方町から、まん丸い形がユニークな「いなかレモン」が登場しました。

北方町志久の高倉袈裟太郎さんご家族が真心込めて育てている「いなかレモン」。酸味が少なく食べやすく、生はもちろんホットレモンやお鍋のポン酢にも最適です。大きなものは野球ボールほどにもなりますが、特徴はその丸さ、オレンジのようにまん丸なレモンは非常に珍しいとのこと。

平成21年3月末まで「ゆうパック」として県内の郵便局（唐津、伊万里地区除く）で限定販売されます。在庫がなくなり次第終了となります。

（2月16日に武雄市役所で記者発表が行われました。）

卒業記念 感謝のお茶会 ～西川登小学校～

西川登小学校の6年生が2月12日、総合授業の一環で感謝のお茶会を開催しました。

お父さん、お母さん、そして先生への感謝の気持ちを込め、お茶のお点前を披露し、みんなでいただきました。

お茶碗は、地元の松保薫さんの指導により、子どもたちが、一人ひとり手びねりで作成。お茶の作法は武雄町の茶道教室の福岡寿美先生から指導を受けました。子どもたちは、お茶の点て方や礼儀作法が学べて楽しかったと話していました。

